

負けのくやしさ

松原剣道 中学二年 張摩 日菜乃

戦いの時間は、案外あつという間でした。

練習試合などで何度も経験した張りつめた空
気と緊張は想像以上に重くのしかかり、試合
場までが妙に長く感じました。全力で挑んで、
負けて。敗北の思い出が、また一つ胸に刻ま
れました。

っ
シードとれたらいいな^ら

がし新人剣道大会へ向かう車内、私は何度も
そう言いました。会話が途切れる度に、無意
識に言っていたようにも思えます。そのくら
い、私は緊張してりました。けれど、運転席
の先生や他の人達が、勝てるかもしれない、
と言ったのが聞こえ、少し緊張が和らいだよ
うな気がしました。もちろん、戦う前から勝
ちが確定することはありません。一人の負け
が千のみの勝敗を大きく左右させる団体戦。
油断は禁物だけど、少しだけ、リラック
スし

て会場に向かうことができました。

呼吸を整えて相手に一礼。先鋒から順に試合が始まりました。そして、先鋒一本勝ち、次鋒引き分けと私達が一歩リードした状態でいよいよ私の番です。ギリギリと間合いを詰めて、技をいくつも出しました。ですが、小手と面をとられ、結果は二本負け。私が負けたことによりチームは一気に劣勢となってしまう。私達は一回戦敗退となりました。もつと自分から打てばよかったかもしれ無い、防いだ後に技を出せばよかったのかもしれない。たくさんの後悔が一気に押し寄せてきて、ああ、負けたんだな、と改めて思いました。こちらでいた行くあてのない涙が急にあふれてきて、しばらくの間、私は無言で他の中学校の試合を見ていました。

一旦更衣室で着替えたあと、同じチームの私達五人は自分達が負けた中学校の試合を見に行くことにしました。選手の人達が全力で戦っている姿を見て、私もこんな風に戦いた

い、団体戦で勝ち上がりた、と思いましたが。一緒に見ていた五人も、同じことを話していました。そしてそのためには、稽古をたくさんして強くなりたい。私は、中学生の間にも、と強くなつてチームのために勝とう、と思いました。

試合一つ一つの勝敗は大切だけど、いつまでも後悔を引きずつて落ちこんだままにいるのはよくないのではないかと思えます。私は、今回の負けを忘れません。今は勝つために稽古をしていきます。今回の負けの大きな原因である左足を継いでしまつているのを無くそうと、そう考えながら稽古していきます。また、チームの勝ち負けの状況を考えながら試合をするかも、今後身に付けていこうと思つていきます。負けのくやしさを忘れず、次の試合に勝つため、稽古に励んでいきたいです。